

環境施策推進の基盤整備



1 推進体制

環境中期計画 3年間の到達目標

本社、支社、郵便局およびその他施設において、環境施策の定着・向上のため、定期的に環境パトロールおよび自己チェックを実施します。あわせて、自立的、継続的に環境施策に取り組むため、モデル郵便局においてISO14001の認証取得を目指すとともに、モデル郵便局で構築した環境マネジメントシステムを参考にマニュアルを作成し、各郵便局への展開をはかります。

平成18年度 環境行動計画の概要

- 各職場において、四半期に1回の環境パトロールを100%実施し、その全チェック項目数の80%以上の項目を確実に実施します。
- 各職場において、年に2回の「自己チェックシート」によるチェックを100%実施します。
- 平成17年度にISO14001の認証を取得した27局に新たに全国の地域区分局・郵便集申局50局を加えて、全国77のパイロット郵便局においてISO14001の認証を取得します。
- 「郵政公社版環境マネジメントシステム(EMS)」の浸透・定着をはかります。 35ページ参照



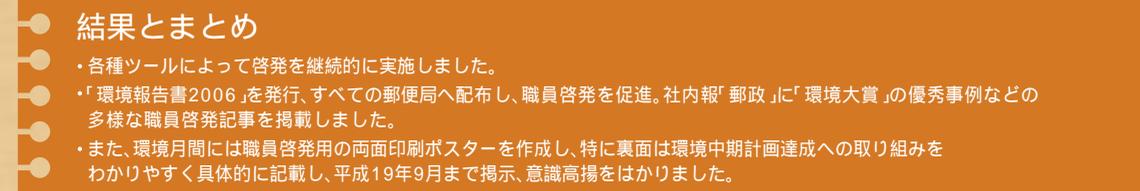
2 教育・啓発

環境中期計画 3年間の到達目標

環境に関する職員への研修や職場における環境啓発の推進をはかります。

平成18年度 環境行動計画の概要

- 新規採用の教材「真っ向サービスの基礎『ハロー！郵便局』」などへ環境への取り組みについて掲載、各種研修において環境教育を実施します。
- 社内報「郵政」に環境関係記事を掲載します。
- 「環境大賞」による郵便局などの推奨と優秀事例を紹介します。
- 環境月間行事の実施(6月)ー職員啓発用の両面印刷ポスターを作成します。



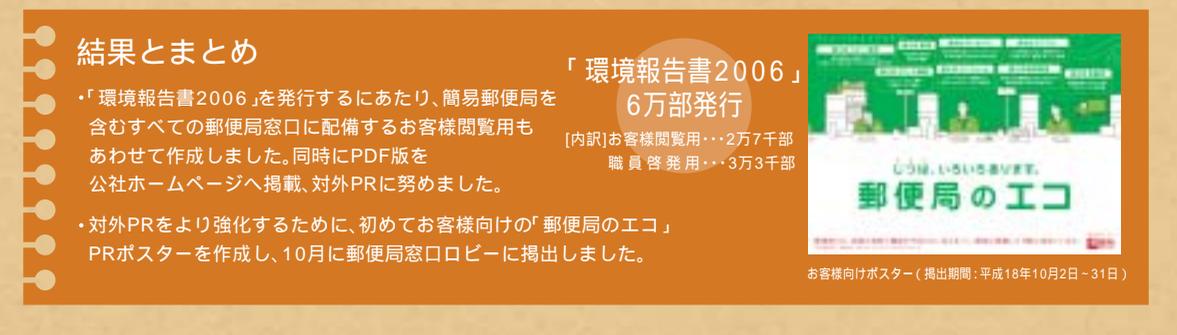
3 広報

環境中期計画 3年間の到達目標

環境報告書やホームページを通じて、公社としての環境への取り組みを積極的に対外発信します。

平成18年度 環境行動計画の概要

- 「環境報告書2006」を作成し、発行します。
- 環境ホームページ、社内ポータルサイトを逐次充実します。
- 環境会計の手法を本格的に検討、新会社へ継承可能な「環境会計マニュアル」を作成します。
- ハイブリッド車の更改・増備にあたり、引き続き「ハイブリッド車」ロゴマークを表示します。
- 整備済の「エコポストオフィス」に設置するPR表示板の標準仕様を作成のうえ、設置に向けての準備を進めます。



4 環境負荷状況の把握

環境中期計画 3年間の到達目標

環境負荷データを集計する仕組みの構築とともに、公社全体の環境負荷発生状況を定量的に把握します。

平成18年度 環境行動計画の概要

- 各種の環境施策を定量的に把握する「環境関連施策データ把握システム」を平成18年4月から全国運用開始します。
- 各種の環境施策への「環境関連施策データ把握システム」の有効活用をはかります。

